

中海の夢 一冊の本に

干拓に賛成か反対で揺れる 小松電機産業(島根県八雲村、本、「母なる中海」気水湖は島根県の中海(なかうみ)問題に新たな活用法を提案した の小松昭夫社長の主張がイヤモンド社、森清著)にな



「母なる中海」を手にする小松社長

小松電機産業社長の提案を森氏が執筆

「小松私案」は海水と淡水が混じり合う気水湖として世界的にも有数の資源である中海を利用、栽培漁業や農業、観光などを核にして「自然と人間が溶け合った二十一世紀の新産業を創造する」というもの。

「太陽プロジェクト」と名付けており、官に頼らず民間の賛同者による出資と組織(ベンチャーアカデミー太陽)で事業を推進する。これまで多くの中小企業、経営者を紹介してきた著者の森氏(山野美容芸術短期大学教授)は「夢とロマンと使命感が際立っている。地域に根差す中小企業の経営者にぜひ、読んでほしい」と語っており、小松社長も「これからの夢実現の勝負」と新たな闘志を燃やしている。

(松江)